

氏名	石岡俊之	部署	作業療法学科	職名	准教授
研究分野	作業療法学 行動神経科学				
学位	博士(障害科学)				
学歴	2006年東北大学大学院医学系研究科 障害科学専攻博士前期課程修了, 2009年同後期課程修了				
経歴	2009年埼玉県立大学講師, 2016年埼玉県立大学准教授				
所属学会(役職)	Society of Neuroscience, 日本神経科学学会, 日本神経心理学学会, 日本高次脳機能障害学会, 日本作業療法士協会, 認知神経科学学会, 埼玉県作業療法士会(理事), 作業療法神経科学研究会(会長)				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
	著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月
(1) 著作					
1	該当なし				
(2) 論文					
1	足圧中心解析による片手でズボンを上 げ動作の立位姿勢安定性—利き手と非利 き手の差異の検証—	共著	日本作業療法研究学会 雑誌	鳥居誠志, 中村裕美, 石岡俊之, 小池祐 士, 濱口豊太	印刷中
(3) 学会発表					
1	脳卒中患者における注意バイアス修正練 習の反応時間と正答率による適応基準作 成	共著	第10回日本作業療法研 究学会(新潟)	○滝澤宏和, 滝澤宏 和, 濱口豊太, 田山 淳, 富家直明, 石岡俊 之, 中村裕美	2016. 5
2	手指運動機能をマーカーレスで自動評価 するシステムの検者間信頼性	共著	第10回日本作業療法研 究学会(新潟)	○斎藤剛史, 吉村 翔, 富沢大和, 石岡 俊之, 濱口豊太	2016. 5
3	手指運動機能をマーカーレスで簡便に評 価するシステムの開発	共著	第10回日本作業療法研 究学会(新潟)	○濱口豊太, 齋藤剛 史, 吉村翔, 石岡俊 之, 富沢大和	2016. 5
4	認知症の人とその家族に対する地域生活 を営むための作業療法士としての役割	単著	第10回埼玉プライマ リ・ケア連合研究会 (さいたま)	○石岡俊之	2016. 11
5	加齢によるネガティブ刺激への意図的な 抑制と虚記憶との関係	単著	第50回日本作業療法学 会(札幌)	○石岡俊之	2016. 9
6	光学式動作解析装置を用いた手指運動 解析方法の検者内信頼性による予備的 研究	共著	第50回日本作業療法学 会(札幌)	○斎藤剛史, 石岡俊 之, 富沢大和, 中村 裕美, 濱口豊太	2016. 9
7	足圧中心解析による脳卒中片麻痺者が 片手でズボンを上上げる動作の立位姿勢安 定性	共著	第50回日本作業療法学 会(札幌)	○鳥居誠志, 中村裕 美, 石岡俊之, 小池 祐士, 濱口豊太	2016. 9
8	運動イメージ惹起のための映像教示装置 作製の試み—2D映像と3D映像の比較—	共著	第50回日本作業療法学 会(札幌)	○鈴木貴子, 原元 彦, 小池祐士, 石 岡俊之, 濱口豊太	2016. 9
(4) その他					
1	該当なし				
2. 競争的資金等の研究					
	競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別			研究期間
1	文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究C)	体内力源型能動義手使用者の基礎的な義手操作技能を評価する指標の開発(研究分担者)			2014.4-2017.3.
2	学長指定研究【企画提案】	光学式Motion Captureを用いた上肢・手指の片麻痺運動機能を自動測定するシステムの開発(研究代表者)			2015.4-2018.3.
3	奨励研究(科研費コース)	人の意思決定に及ぼす自己と他者の価値判断の関わり(研究代表者)			2016.4-2017.3.

3. 教育業績				
	講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)	
(1) 講義				
1	スタートアップセミナー	2016.4-7.	講義の分担およびe-learning教材作成を行った。	
2	作業療法学概論	2016.4-7.	科目分担者として高次脳機能の作業療法について1コマ講義を実施した。	
3	高次脳機能作業療法学	2016.10-11.	科目責任者として講義を実施した。	
4	高次脳機能作業療法評価学	2016.10-11.	科目責任者として講義を実施した。	
5	高次脳機能作業療法学特論	2016.10-11.	科目責任者として講義を実施した。	
5	作業療法ゼミナール	2016.10-2017.2.	ゼミ学生3名に対して実施した。	
6	行動神経作業療法学特論	2016.10-2017.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した。	
7	心身機能作業療法論	2016.10-2017.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した。	
(2) 演習				
1	高次脳機能作業療法学演習	2016.10-11.	科目責任者として講義を実施した。	
2	臨床作業療法演習	2016.10-2017.2.	教科書の執筆, および演習講義及びOSCE試験官を担当した。	
3	リハビリテーション学演習(行動神経作業療法学)	2016.4-2017.2.	科目担当者として博士前期課程学生に講義を実施した。	
4	心身機能作業療法演習	2016.4-2017.2.	科目担当者として博士後期課程学生に講義を実施した。	
(3) 実習				
1	身体機能作業療法学実習(疾患別)	2016.10-2017.2.	科目分担者として神経変性疾患の作業療法について1コマ講義を実施した。	
2	臨地実習Ⅰ-1	2017.2.	科目担当者として中間訪問を実施した。	
3	臨地実習Ⅱ-1	2016.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した。	
4	臨地実習Ⅱ-2	2016.4-7	科目担当者として中間訪問を実施した。	
(4) 論文指導				
1	修士課程	2016.4-2017.3.	主指導:2名、副指導:5名	
2	博士課程	2016.4-2017.3.	副指導:3名	
(5) その他				
4. 社会貢献活動				
(1) 講演会、研修会等の講師				
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ	開催年月
1	第47回北海道作業療学会ワークショップ	北海道作業療法士会	クライアントのための作業療法を実践するために	2016.6
2	第2回作業療法神経科学研究会学術集会 大会長講演	作業療法神経科学研究会	作業療法学としての行動神経学-作業療法学の	2016.7
3	品川区高次脳機能障害家族会講演会	品川区高次脳機能障害家族会	周りが変わると当事者が変わる	2016.7
4	新越谷病院勉強会	新越谷病院	臨床における高次脳機能障害の診かた	2016.7
5	作業療法神経科学研究会第4回研修会	作業療法神経科学研究会	画像所見のみかた～入門編～ 療法士としての脳画像の使い方-脳画像を学びなおしたいみなさんへ-	2016.10
	品川区高次脳機能障害 サポーター養成講座	品川区, 品川総合福祉センター	高次脳機能障害者 サポーター養成講座	2017.1-2
6	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター主催勉強会	さいたま市保健福祉局福祉部障害者更生相談センター	高次脳機能障害者へのグループ訓練に対するスーパーバイザーとして参加	2017.3
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等				
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期	
1	全国リハビリテーション学校協会	研修委員会委員	2014.4.-	
2	日本作業療法士協会	学術誌「作業療法」編集協力者	2015.4.-	
3	日本作業療法士協会	日本作業療学会演題査読者	2015.4.-	

(3)ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	教育開発センター		
2	研究推進委員会		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	第2回作業療法神経科学研究会学術集会を札幌にて大会長として主催した。		